

構成する施策

- 40 一人ひとりの豊かな人間形成に向けた教育の充実
- 41 開かれた学校づくり
- 42 教育環境の整備充実

政策12 学校教育の充実

目標

子どもたちの個性を伸ばし、自己を表現する力や生きる力を育てていくことのできる柔軟な教育活動を学校・家庭・地域が相互に連携しながら着実に進めていきます。

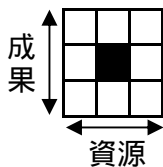
基本方針

基礎・基本の学力の着実な定着を図るとともに、個性を重視したゆとりある教育活動のなかで、子どもの生きる力を育む教育、心の教育の充実をめざします。
学校・家庭・地域が一層連携・協力し、特色ある教育活動を展開します。
教育環境の整備に努めるとともに、教職員の資質向上を図ります。

考え方

政策の方向性

箕面市市民満足度アンケートにおいては、重要度はやや低く、満足度は中間層であるため、市民ニーズ度はやや低くなっている。これは本政策を第四次箕面市総合計画のリーディングプランとして位置づけ、教育内容の充実や開かれた学校づくりに向けた取り組みを進めてきた成果が一定評価された結果と考えられる。今後とも、着実に成果を上げるため、これまでの取り組みを継続し、成果を「維持向上」していくこととし、資源は、施策実施における手法の見直し等を行いながら「維持抑制」するものとする。



成果	維持向上
資源	維持抑制

社会状況の変化

・「総合的な学習の時間」「個に応じた指導」の充実が求められる。
・学校運営協議会の法制化等、地域と学校との協働が今後ますます求められる中で、箕面の特性を生かした教育環境の充実が必要である。

これまでの取り組み

・不登校生については、依然厳しい状況ではあるが、各校での取り組みが進み、減少傾向となった。
・総合的な学習における地域との協働授業は60数%であるが、教科や他の教育活動においても地域との協働は進展した。
・電子メールを操作できる児童・生徒の割合が伸びており、着実にIT活動による教育の成果が現れてきた。

課題

・習熟度別少人数指導については、各学校における取り組みが進展しているが、個に応じた確実な学力の定着を市全体で取り組むため、全校での実施が必要である。
・学校と地域との関わりは一定深まってきているが、総合的な学習における地域との協働授業が60数%であるため、今後とも100%をめざした取り組みが必要である。
・学校施設の耐震診断や老朽化した学校施設の計画的な整備、改修が必要である。

成果指標

成果指標名		基準値	→	目標値
指標	少人数指導実施率	62.6	% →	100.0 %
根拠	一人ひとりの豊かな人間形成に向けた教育の充実を推進するため、個に応じたきめ細かな指導による確かな学力の定着を図ることとし、少人数指導実施率を指標とする。少人数指導を全校で実施することをめざして、100%を目標とする。			
指標	学校協議会開催率	60.0	% →	100.0 %
根拠	学校の教育方針、教育内容、今後の方向性などの情報提供を行うことで、開かれた学校運営を推進していくため、学校協議会の開催率を指標とする。市内全校にて毎学期開催することをめざして、100%を目標とする。			
指標	学校施設の耐震化率	48.0	% →	77.0 %
根拠	教育環境の整備・充実においては、安全な学校施設であることが重要であり、学校施設の耐震化率を指標とする。現時点の避難所施設耐震補強計画に基づき、77.0%を目標とする。			